

PRESS RELEASE

デジタルアーツ、ChatGPT など生成 AI の利用を可視化し、安全な利用環境を実現する「AI チャットフィルター」に新機能を 4 つ追加 11 月 13 日から「i-FILTER」シリーズに標準搭載開始

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、「i-FILTER」シリーズに標準搭載している生成 AI(人工知能)に対応する「AI チャットフィルター」に新たな機能を追加し、11 月 13 日から提供開始することを発表します。

「AI チャットフィルター」で生成 AI の利用拡大に対応

デジタルアーツは、生成 AI の利用コントロールや利用状況を可視化できる機能「AI チャットフィルター」を開発し、8 月 16 日から「i-FILTER」と「i-FILTER@Cloud」に標準搭載しています。両製品は、長年収集した URL のデータベースを活用することにより、デジタルアーツが安全と判断した Web サイトのみアクセスできる「ホワイト運用」を実現しています。

「AI チャットフィルター」では、いつ・誰が・どんなメッセージを生成 AI に送信したかといった情報をログとして表示します。機密情報など特定単語を含む生成 AI へのメッセージ送信をブロックするフィルタリング機能もあり、ブロックした単語をログから閲覧することも可能です。生成 AI 利用時には、機密情報の漏えいなどに注意が必要な旨を伝える警告画面も表示します。これらの機能により、適切な生成 AI 利用が行われているかを確認することが可能です。

また、生成 AI の利用を柔軟に制御する機能も搭載しています。以前から「i-FILTER」シリーズに標準搭載している「Web サービス制御」機能では、生成 AI である ChatGPT や Bard、Bing AI を閲覧許可またはブロックとすること、「グループ設定」機能では、任意のグループ・ユーザー単位で生成 AI の利用を制御すること、「時間割」機能では、就業時間や授業時間など設定した時間のみ生成 AI を利用できるように設定することが可能です。

そしてこの度、生成 AI の利活用をより安全に、スマートにするために、「AI チャットフィルター」に新たな 4 つの機能を追加しました。

「AIチャットフィルター」機能一覧

NEW

「AIチャットフィルター」	内容
AIチャットログ(送信メッセージ)	いつ・誰がどんなメッセージを生成AIに送信したか、ブロックした単語を管理画面から閲覧できる
フィルタリング	機密情報を含む特定単語のブロックなどのフィルタリングが可能
警告画面表示	生成AI利用には注意が必要である旨を警告画面で伝える
AIチャットログ(応答メッセージ)	生成AIの応答メッセージを取得し、ログの全文表示が可能
マスキング送信	事前に設定した特定の単語がマスキングされて送信
単語テンプレート	AIチャットにてブロックすべき単語の推奨テンプレートを提供
DLPスキャン※	生成AIへの送信内容をDLPスキャンし、個人情報や機密情報に該当する恐れのあるメッセージの送信をブロック

※DLPスキャンのご利用には、別途「i-FILTER」連携オプションの購入が必要です。
マスキング送信と組み合わせることで、個人情報や機密情報を自動的にマスキング可能です。

生成 AI の利活用をより安全に、スマートにする 4 つの新機能

新しく搭載される機能は、「AI チャットログ(応答メッセージ)」、「マスキング送信」、「単語テンプレート」、「DLP スキャン」の 4 つです。

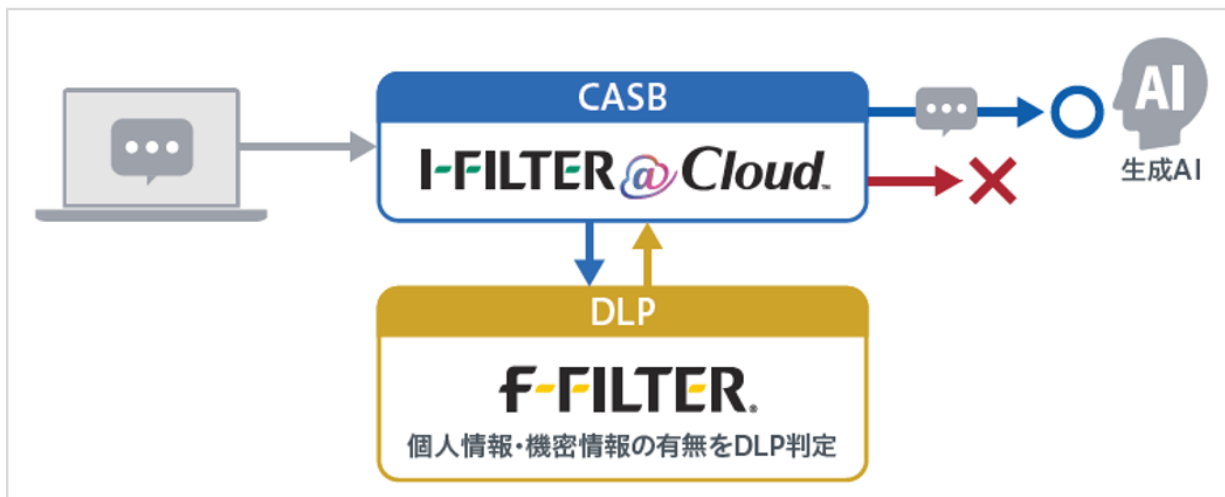
「AI チャットログ(応答メッセージ)」は、利用者が生成 AI から得た応答文のログを取得する機能です。AI チャットログの送信メッセージ・応答メッセージ、両方のログ取得が可能になったことで、より詳細な利用状況の把握や、データの可視化が行え、情報漏えいリスクの早期発見に寄与します。

「マスキング送信」は、事前にマスキング対象として設定した特定の単語を表示させずにメッセージを送信する機能です。個人情報や機密情報に繋がるキーワードが該当する場合、ブロックせずテキストを置き換えられるため、利便性を維持しながら情報漏えいリスクの低減を実現します。

「単語テンプレート」は、デジタルアーツがブロックすべき単語の推奨テンプレートを提供するものです。単語テンプレートを活用することで、「AI チャットフィルター」導入時の設定負担を軽減し、スムーズな利用開始が期待できます。

「DLP スキャン」は生成 AI への送信内容を DLP スキャンすることで、個人情報や機密情報に該当する恐れのあるメッセージの送信をブロックする機能です。「マスキング送信」と組み合わせて利用することで、入力した内容が個人情報や機密情報だと検知した場合、自動的に該当箇所をマスキングさせてメッセージを送信することもできます。そのため、情報漏えいを未然に防ぐことが可能となります。

※DLPスキャンの動作イメージ



デジタルアーツは、「AI チャットフィルター」の機能を拡充することでこれまで以上に生成 AI の安全な利活用をサポートしてまいります。2023 年 11 月 28 日(火)に開催するオンラインセミナーでは、4 つの機能を詳しく解説しますので、生成 AI の利活用や DLP による情報漏えい対策を検討中の方は是非お役立てください。

「AI チャットフィルター」の新機能を解説するオンラインセミナーを 11 月 28 日 (火) に開催

11 月 28 日(火)【デモ実演】生成 AI を安全に活用する新機能「AI チャットフィルター」を徹底解説！
～DLP 製品との連携機能も新登場～

本セミナーでは生成 AI に対応する「i-FILTER」の新機能「AI チャットフィルター」についてご紹介いたします。また、デジタルアーツの DLP・ファイル転送サービス「f-FILTER」との連携オプションについても解説いたします。さらに、運用イメージを掴んでいただけるよう設定方法や実際の動作などもデモを用いてご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

- ・日時:2023年11月28日(木) 15:00~15:40
- ・お申し込み方法:お申し込みフォームに必要事項をご入力ください。[参加費:無料]
- ・お申し込みはこちら <https://mktg.daj.jp/public/seminar/view/8320>

■「i-FILTER」

「i-FILTER」は、Webセキュリティ製品です。有害情報や業務に関係のないWebサイトの閲覧を防ぐフィルタリング機能に加え、外部からの攻撃、内部からの情報漏えいも防ぎます。国内で検索可能なURLを網羅したデータベースにより、危険なWebサイトや未知の脅威へのアクセスをブロックし、デジタルアーツが安全と判定したWebサイトのみアクセスできる環境を実現します。

<https://www.daj.jp/bs/i-filter/>

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。

1995年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限するWebフィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報課 関、宮内 TEL : 03-5220-1670 / E-mail : press@daj.co.jp

※デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、info board、Active Rating System、D-SPA、Anti-Virus & Sandbox for D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk、Desk Event、StartIn、f-FILTER、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

※その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。